

テーマ：『 自分を拓き共に育つ ～ 伝え合い 学び合う力を高めるために～ 』

相模原市立 宮上小学校

Tel. 042-773-8700 担当者 岩崎 保博



■**実践内容:** ①水源地域の学校と体験交流事業に参加することで、水源地域や水源保全の重要性を学ぶとともに、自然への関心を深めていく。(写真左上) ②川や海の学習から水の大切さや、環境の大切さを学習する。海は川の影響を強く受けている。川と海は環境を守る観点でつながっている事を学習した。(写真左下) ③境川を調べる活動ではボランティアとの交流をとおして、環境保全の活動に参加することによって実践的・体験的に環境について学習する。(写真右上) ④川の日活動では、川の生き物を採集したり、川のゴミの掃除をしたりして、川に親しみ関心を持ち、環境を大切にすることを育む。そして、身近な川を地域の人と一緒に大切に、守っていこうとする。(写真右下)

■**実践成果:** ①水源林のある学校との交流学习から、水が生まれる自然のしくみを学び、水を大切にしようとする思いを強くして帰ってきた。そして、下流域までの川の学習や、海へ行って自然の大切さを学びたいという欲求が高まった。川が海へとつながっている学びから、山や森の環境を守ることの大切さを痛感した。さらに、体験学習を通して、水を守るために自分たちができることを考えるようになった。②地域のボランティアや川を守ってくれている県の職員との交流を通して、身近な川をきれいにしようとする思いから、命の大切さや環境の大切さを学び深めることができた。

■**実践ポイント:** 環境教育は、身近な現象を見つめることから、空や川、海など自然界全体の学習へと広がっていくことが大切である。そのためには、全体的な視野からものを見つめる必要がある。その意味で、川の学習は広がりを実感でき、様々なことが影響し合って成り立っていることがよく分かる教材である。また、さまざまな人との関わりも環境を守る上で大切な視点である。これらのことを体験的に学習でき、学びを深めることができた。

